

## 金沢大学における女性研究者支援 地域で活躍し世界に発信できる女性研究者リーダー育成をめざして

金沢大学では、平成 20-22 年度に文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者育成モデル」事業として「やる気に答えます金沢大学女性研究者支援」が採択され、女性研究者支援の基盤を構築し、男女共同参画キャリアデザインラボラトリーによる支援を事業継続している。さらに、平成 25 年度より、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業（拠点型）」に採択されて、北陸初の女性研究者支援ネットワーク（HWRN）を構築し、支援の取組みを地域に広げるとともに、地域全体で女性研究者の研究力の向上を目指しています。

### ◆女性研究者研究活動支援事業（拠点型）の取組と進捗

- (1) **女性研究者・技術者ネットワーク構築と支援の普及**：HWRN を構築し、その運営のための普及促進会議を設立するとともに、HWRN 専用ホームページ を開設し、取組の進捗報告、ネットワーク内での情報共有を行っている。また、平成 25 年度 1 月に HWRN キックオフシンポジウムを開催、平成 26 年度 12 月に第 2 回 HWRN シンポジウムの開催を予定している。
- (2) **次世代の女性研究者育成に向けた取組**：女子学生（博士課程前後期）を対象としたインターンシップ制度を構築し、平成 26 年度は女子学生を 5 名派遣した。本制度は、派遣先企業で女性を含む指導者から指導を受けることにより、キャリア支援を行うものである。また、HWRN 連携機関所属の女性研究者・技術者から写真を募集し、研究写真展（Beauty in Science）を開催。平成 25 年度に 3 回（11 月・1 月・3 月）、平成 26 年度に 4 回（6 月・8 月・9 月・11 月）開催。
- (3) **女性研究者自身の研究力向上に資する取組**：平成 25 年度より共同研究スタートアップ支援事業を開始し、平成 26 年 6 月に平成 25 年度に採択した 3 課題についての成果発表会を開催した。本年度も 3 件の採択を決定した。さらに、7 月には、がん研究に携わる研究者による「金沢女性がん研究者フォーラム」を開催した。さらに、本学先端科学・イノベーション推進機構（O-FSI）により、31 名の女性研究者の研究費獲得支援を行った。「HWRN 合同ワークショップでの有機的研究ネットワーク形成サポート⇒共同研究スタートアップ支援⇒O-FSI による大型外部資金獲得支援」の流れをつくることにより、研究力の向上をめざしている。
- (4) **女性研究者へのエンカレッジメント**：中村賞（金沢大学女性研究者賞）を創設し、平成 25 年度には、女性賞 1 名および女性研究者奨励賞 2 名を表彰した。平成 26 年度においても、同様に 3 名の受賞者を決定したところである。

### ◆継続中の女性研究者支援の取組と実績

出産育児介護で多忙な研究者に対しパートナーを派遣する研究パートナー制度（14 名/半期）、研究費を獲得しているがポストがない女性を非常勤研究員として雇用する若手女性研究者支援制度（1 名/半期）、新たなポストとして創設した Skilled Specialist（SS）制度（1 名/2 年度）など女性研究者支援・育成の取組を継続して行っている。平成 25 年度より、研究パートナー制度を、介護に携わるマネジメント層の女性や妊娠中の女性にも広げ、急な介護が必要となった場合にも応じるなど、柔軟な対応を行っている。

---

【連絡先】 国立大学法人金沢大学 男女共同参画キャリアデザインラボラトリー  
代表：男女共同参画キャリアデザインラボラトリー  
TEL/FAX：076-234-6907/6908 E-Mail：cd\_lab@adm.kanazawa-u.ac.jp  
URL：(CDL) <http://cdl.w3.kanazawa-u.ac.jp> (HWRN) <http://hwrn.cdl.kanazawa-u.ac.jp>

# 金沢大学における女性研究者支援

～地域で活躍し世界に発信できる女性研究者リーダー育成をめざして～



文部科学省科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業(拠点型)」(平成25年度採択)

## HOKURIKU WOMEN RESEARCHERS' NETWORK

### 中村賞(金沢大学女性研究者賞)創設

HWRNの女性研究者・技術者を対象に、研究者・技術者、組織運営者として活躍する女性を顕彰する「中村賞(金沢大学女性研究者賞)」を創設。女性研究者賞(1名)と女性研究者奨励賞(2名)で構成される。第1回目の授賞式を、HWRNキックオフシンポジウムにて行った。

### 共同研究スタートアップ支援

HWRN参画機関所属の女性研究者を含む研究グループの共同研究を公募し、スタートアップ研究費を助成する目的とする事業。支援を行った共同研究の成果は、翌年度の共同研究ワークショップにて発表し、O-FSIによる大型研究費獲得支援を行う。

### ワークショップの合同開催

研究者同士の連携を促進し、共同研究のスタートにつなげることを主目的とし、HWRN参画機関所属の女性研究者・技術者、学生などで研究ワークショップを合同開催。



共同研究スタートアップ支援成果報告会(左上)と金沢女性が研究者フォーラム(右上)の様子

### リカレント教育プログラム

①講義受講型 ②個別指導型  
HWRN連携機関所属の女性技術者の技術力・研究開発力向上を目的としたリカレント教育プログラムを整備した。

### 倫理教育プログラム

金沢大学の女性研究者支援を受けている(これまで受けたことのある)研究者には「CITI Japan プログラム」(研究者行動規範教育を提供しているサービス)の受講を必須とし、その他学内、HWRN参画機関所属の研究者にも受講の呼びかけを行った。

### 研究写真展(Beauty in Science)の合同開催

女性研究者、女子学生から募集した研究の中で得られた写真を元に、美しいポスターパネルを作成・展示する研究写真展Beauty in Scienceの合同開催を行った。



### HWRN普及促進会議の設置

本年度は、金沢大学・富山大学・福井大学・大学コンソーシアム石川・石川県・金沢市・石川県内4公設研究機関、金沢大学先端科学イノベーション推進機構(O-FSI)協力会で構成した。普及促進会議委員を構成機関の長とし、会議を開催。会議において各取組の承認を得るだけでなく、女性研究者支援の情報交換や、共同研究、写真展、受賞者候補の推薦などの取組を介して、活発な交流を図ることができた。



### 金沢大学人材バンクの共有

本学が構築・運営してきた研究支援人材バンクを、HWRN内で共有すべく、登録しやすさ、活用しやすさを検討。スマートフォンでも登録しやすい画面、分かりやすいマニュアルを目指し、リニューアルした。本年度は、登録者の増加を目的とし、様々な機関、施設にリーフレットを配布、各イベントにおいて周知を図るなど広報活動に努めた。



### HWRN合同シンポジウムの開催

各界で活躍する女性研究者を基調講演の講師として迎え、地域の女性研究者・技術者や女子学生のロールモデルとして提示し、進路選択や支援者への啓発を図った。また、HWRN参画機関の女性研究者支援の取組プレゼンやディスカッションにより、各機関の支援取組の情報交換を行った。



キックオフシンポジウム基調講演の様子(上)とチラシ(右)

■平成26年度HWRNシンポジウム  
平成26年12月6日(土)開催

女性研究者への  
エンカレッジメント

女性研究者・技術者  
ネットワーク構築と  
支援の普及

女性研究者自身の  
研究力向上に資する  
取組

次世代の女性研究者  
育成に向けた取組

### インターンシップ制度の整備

本学大学院自然科学研究科博士前期・後期課程1年生の女子学生を対象とした企業インターンシップ支援制度を構築。本学の既存のインターンシップ実施支援組織「産学連携博士人材育成センター(創成研究)」の協力のもと、HWRN参画機関(企業)に所属する女性研究者・技術者をキャリアモデル(現場指導員)とするインターンシップを積極的に呼びかけ実施した。



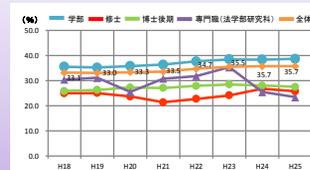
### 女子学生ニーズ調査

研究を志す女子学生の増加につながる効果的支援策を提案すべく、女子学生ニーズ調査を実施する。平成26年11月に女子学生交流会を開催。

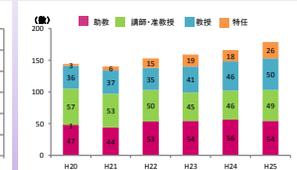
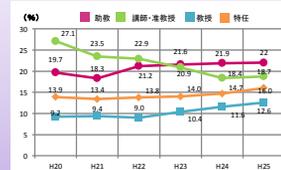
## やる気に応えます金沢大学女性研究者支援

文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者モデル育成」事業(平成20～22年度採択)

### 本学的女子学生数と比率の推移



### 本学的女性教員数と比率の推移



### 研究パートナー制度

出産・育児、介護等と両立して研究活動を行う研究者の研究活動を補助する研究パートナーの雇用を支援。研究者とパートナー両者のキャリアアップを目指す。  
【平成26年度実績】  
前期 利用者15名、パートナー15名  
後期 利用者12名、パートナー12名  
※平成26年10月時点

### 若手女性研究者支援

学位を有し研究費を獲得している若手女性研究者を有給非常勤研究員として、雇用。将来、研究者として職を得るためのステップアップとして有効に活用されている。  
【平成26年度実績】  
前期 1名 後期 1名  
※平成26年10月時点

### Skilled Specialist (SS)

博士学位を有する研究者を対象として、従来のカテゴリに入らない新たな職種を創出。  
①キャリアパスの多様化による女性研究者の増加と②SSIによる研究支援による女性教員の研究力向上を図ることを目的としている。  
【平成25年度実績】  
1名 所属:がん進捗制御研究所

### ジェンダー関連講義 中高生の理系選択支援

本学学生を対象とした男女共同参画に関する講義を提供。女性が少ない理工分野の魅力を伝えるため、出前実験や講義の実施、オープンキャンパスにおいて進路相談窓口の設置等、理系選択支援を行っている。

### WILカフェ WIL便り配信 全学アンケート実施 SNSの活用

教職員に対して、男女共同参画に関する情報提供、広報啓発活動を行っている。

